

講義科目 : 人間関係論	単位数 : 2
担当 : 小笠原 昭彦	学習形態 : 選択科目

### 講義の内容・方法および到達目標

・人間関係論では社会における人と人との関わりを学びます。この講義では、心理学を基礎として人間関係についての理解を深め、学習者自らの人間関係を振り返ることから出発して、実践の場面に応用できる基本事項を講義します。

・到達目標は、①発達のみに見た重要な人間関係やそのあり方、②社会の中における対人関係、③人間関係の基本とそこから生じる問題、④学習者自らの人間関係のあり方、⑤健康増進・ストレス・幸福感など実践場面での関係性、⑥援助的コミュニケーションの基本について理解することです。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション、人間関係論・人間関係・対人関係の基本
- 第2回 発達の視点からみた人間関係①：乳幼児期の親子関係
- 第3回 発達の視点からみた人間関係②：幼児期から成人期における友人関係
- 第4回 発達の視点からみた人間関係③：職業からみた人間関係
- 第5回 発達の視点からみた人間関係④：青年期の人間関係の悩みとその克服
- 第6回 社会心理学的観点からみた人間関係①：自己と他者
- 第7回 社会心理学的観点からみた人間関係②：親密な人間関係
- 第8回 社会心理学的観点からみた人間関係③：競争と協同
- 第9回 社会心理学的観点からみた人間関係④：非言語行動
- 第10回 現代社会のコミュニケーションと人間関係①：ネット社会の人間関係
- 第11回 現代社会のコミュニケーションと人間関係②：健康増進のコミュニケーション
- 第12回 現代社会のコミュニケーションと人間関係③：ストレスと人間関係
- 第13回 現代社会のコミュニケーションと人間関係④：幸福感に関わる人間関係
- 第14回 現代社会のコミュニケーションと人間関係⑤：問題となる対人関係
- 第15回 人間関係と援助的コミュニケーション

### 教材・テキスト・参考文献等

・授業はパワーポイントによって進め、必要な資料を配付します。参考文献はその都度紹介します。また、適宜、テーマに関連する質問紙などを実施し、自己理解・他者理解を促します。

### 成績評価方法

・定期試験によって成績を評価します（100％）。基本的な概念、知識および基礎的な理論の理解を問う内容を出題する。配付資料等は参照不可。

・毎回出席を取ります。ただし、出席状況は成績には反映しません。6回以上の欠席は評価の対象外です。

### その他

・出席票に質問、感想などを書いてもらい、それに対する回答、補足を次の授業の冒頭で行います。